



2021年6月28日

令和3年度3年生学年だより

進化

3年生になって3か月がたとうとしています。受験勉強は順調に進められているでしょうか。基礎基本を見直すこと、集中して学習に取り組むことが大切です。

ここでは、3年生の学習習慣のポイントについてまとめています。難関大合格者のデータなどもあわせて紹介しているので、参考にしながらもう一度、学習スタイルを見直し、効率的に学習を進めていけるようにしましょう。

1. 自主学習時間を確保しよう

自主学習時間について下のデータを見ると、難関大合格者はこの時期に、十分な自主学習時間を確保していたことがわかります。平日3時間以上、休日5時間以上を目安に、今まで部活動に取り組んでいた時間を+αして、自主学習時間を確保していきましょう。また、「思ったように自主学習時間が確保できていない」と感じる人は、下の<自主学習時間を確保するための3つのポイント>を参考にしましょう。

平日の自主学習時間（単位：％）

選択肢	難関大合格者
ほとんどしない	5.2
30分	5.2
1時間	10.4
1時間30分	11.2
2時間	26.0
3時間	25.9
4時間以上	16.1

休日の自主学習時間（単位：％）

選択肢	難関大合格者
1時間以下	9.9
1時間30分	4.0
2時間	10.5
3時間	17.1
4時間	16.6
5時間	16.9
6時間以上	24.6

<自主学習時間を確保するための3つのポイント>

① 「生活の3点」と「学習開始時間」を固定する

生活の3点とは、「起床」「夕食」「就寝」です。これらの時間と学習開始時間を固定して、規則正しい生活を心がけましょう。

② まとまった学習時間をつくる

問題演習には時間がかかるものです。まとまった時間をつくり、じっくりと取り組んでみましょう。そうすることで、入試問題にも対応できる力をつけることができます。

③ 休日の時間を有効利用する

平日にできなかったことは、休日にカバーしましょう。計画の遅れも休日の時間を有効利用することで取り戻すことができます。

2. 授業を大切にしよう

学校の授業と受験勉強を別のものだと考えていませんか。

入試で問われる内容は、学校の授業で習うことを活用して解くことができます。つまり、学校の授業を通して自分の学びを深めることが、受験勉強を進めていくうえでも重要だと言えるでしょう。

「受験勉強」だからといって特別なことをするのではなく、まずは、「予習→授業→復習」のサイクルを崩さずに、学習を進めていくようにしましょう。

3. 模擬試験を活用しよう

これから入試まで模擬試験を受験する機会が多くなります。模擬試験をうまく活用することで、受験勉強をより効率的に進めることができます。下には、模擬試験の効果と有効活用法についてまとめていますので、確認しましょう。

<模擬試験の4つの効果>

① 節目の効果	長期間にわたる受験勉強の集中力を維持する。
② 自己診断の効果	自分の弱点や課題を見つける。
③ 全国区の効果	全国レベルでの自分の実力の伸びを正確につかむ。
④ 試験慣れの効果	試験の場に慣れ、実力を出し切るテクニックを身につける。

<模擬試験の有効活用法>

① 受験後、自己採点をしよう

受験後に自己採点をするために、解答を控えるようにしましょう。

② 間違えた問題と、正解したが理解があいまいだった問題を復習しよう

「理解できているか」を基準として、理解不足だった問題は必ず復習しましょう。

③ 自分の苦手分野を分析し、弱点を克服しよう

ただ解きなおすだけではなく、「自分が間違いやすい分野」、「ミスしやすい箇所」などをチェックし、自分の弱点分析に役立てましょう。

石川県総体 総文 及び 北信越 結果

【個人】

31H 今井翔梧 柔道：個人7位（北信越出場）

32H 岡田幸 少林寺拳法：単独演武6位（北信越出場）

32H 松田開意 少林寺拳法：単独演武3位
（北信越単独演武3位）

33H 中越優里 剣道：個人ベスト8（北信越ベスト8）

35H 清水貫汰 陸上[ハンマー投]1位（北信越出場）
柔道：個人2位（北信越ベスト16）

【団体】

剣道：男子3位

女子3位（北信越2位）

空手道：男子団体組手 準決勝進出

なぎなた：女子3位

バレーボール：男子ベスト8

バドミントン：男子ベスト8



体育祭

僅かな準備期間でよくぞここまで！

3年生の底力を感じさせられた体育祭でした！



ご不明な点、相談したいこと等がありましたら、ご連絡ください。 羽咋高校 0767-22-1166